

令和7年6月12日



相談室からのお手紙（6月号）

愛媛県立松山中央高等学校

梅雨に入りましたね。季節は、夏を迎える準備をしています。梅雨入り前の晴れた日に、遠くからアオバズクの声を目にしました。皆さんの中にも「ホッホ、ホッホ、ホッホ、ホッホ」という静かで柔らかな鳴き声を聞いた人もいないでしょうか。そして、明け方にはホトトギス。「ヒョヒョヒョヒョヒョヒョ……」と澄んだ声が聞こえてきました。アオバズクもホトトギスも夏鳥です。ああ夏が近づいているのだなとしみじみ思いました。

学校では、修学旅行や遠足、部活動の大会と行事が続きましたね。今日という日は二度とありません。毎日を元気に、心健やかに、思い切り楽しんでもらいたいと思います。また、先生や友人、お店の人や登下校ですれ違う地域の方……誰かと挨拶をしたり、お互いに微笑んで道を譲りあったりすることがありますね。ただそれだけの出会いであっても、ほっこりと、優しい、嬉しい気持ちになります。誰かの優しさや思いやりに気付くとき、幸せな気持ちになります。優しさを、またその人や周りの人へとバトンのように渡していきたいものです。

今、学校の正門の正面にある畑には、濃いピンク色のソバの花が咲いています。いつからかこの畑には、毎年春にはレンゲ、秋にはコスモスが咲いていたのですが、あるとき「もしかしたら、この畑の地主さんが中央生のために花を咲かせてくださっているのでは」と思い至りました。確かめたわけではありません。でも、「そうかも」と思うだけで感謝の気持ちでいっぱいになりました。中央生が朝、そして帰るときに、花を見て癒やされてくれたらと地主さんが皆さんをひそかに応援してくださっているのかもしれない。そう思うと、毎日その花々を見ると元気がもらえるような気持ちになりませんか。

スクールカウンセラー 岡本 綾

★スクールカウンセラー来校予定日（13：30～17：30）

6月12日（木）・17日（火）・19日（木）・24日（火）・26日（木）
7月 3日（木）・ 8日（火）・10日（木）・15日（火）・17日（木）

★メールアドレス

kawamin_chuosoudansitu@school.esnet.ed.jp

★生徒の皆さんだけでなく、保護者の皆様も、気軽に利用してください。

6月5日の全校集会でお話した、ネイティブアメリカンのチェロキー族に伝わる「二匹の狼の話」の原文を紹介します。ぜひ、読んでみてください。

Tale of Two Wolves:

One evening, an elderly Cherokee brave* told his grandson about a battle that goes on inside people.

He said,
"My son, the battle is between two "wolves" inside us all.

One is evil.
It is Anger, Envy, Jealousy, Sorrow, Regret, Greed*, Arrogance*, Self-Pity, Guilt, Resentment*, Inferiority, Lies, False Pride, Superiority, and Ego.

The other is good.
It is Joy, Peace Love, Hope Serenity, Humility, Kindness, Benevolence*, Empathy*, Generosity*, Truth, Compassion*, and Faith."

The grandson thought about it for a minute and then asked his grandfather.

"Which wolf wins?"

The old Cherokee simply replied,

"The one that you feed."

brave 北米先住民の戦士 Greed 欲深さ Arrogance 横柄さ Resentment 恨み
Benevolence 慈悲 Empathy 共感 Generosity 寛大さ Compassion 同情

